

進路希望調査の結果が公表されました

2016年
11月19日

【最上位校の倍率推移の予想】

学校名	H.27	H.28	H.29	予想コメント
浦和 (72)	1.8	1.41	1.48	● 昨年の40人増に対して今年は40人減なので、倍率が上がると考えられるが、希望調査の倍率は大きく上がっていないので、H.27年ほどの倍率にはならなそう。
	1.62	1.33	40人増	
浦和一女 (70)	1.53	1.22	1.25	● 昨年、40人増で倍率が下がった。今年も希望調査の倍率が同程度なので、本番も昨年と同程度の倍率になりそう。
	1.45	1.39	40人増	
大宮 (71)	1.85	2.35	1.94	● 浦高とは逆に、昨年の40人減で倍率を上げたが、今年は40人減で倍率は減少に転じそう。ただし、あまりに低くならぬば、理数科のほうから生徒が流れてくる可能性もあります。
	1.24	1.62	40人減	
市立浦和 (68)	2.93	3.23	2.81	● 昨年、40人減で倍率が上がった。ただし、今年は希望調査の倍率が昨年度より低いため、本番の倍率も下がるのでは。ただ、それでも1.6倍以上の高倍率になるでしょう。もし、これより低くなることがあれば駿や浦和西の生徒がチャレンジで流れてくる可能性があります。
	1.69	1.96	40人減	
蕨 (66)	2.22	2.66	2.61	● 昨年、40人減で倍率が上がった。今年も希望調査の倍率が同程度なので、本番も同程度の倍率になりそう。
	1.51	1.58	40人減	
浦和西 (64)	2.29	2.27	2.11	● ここ数年、倍率が上昇していたが、今年は40人増であり、倍率は減少に転じそう。ただし、ここで倍率が1.5倍をきってくと他の学校の生徒が流れてくる可能性があります。
	1.56	1.66	40人増	
川口北 (63)	2.03	1.74	1.46	● 倍率が減少傾向。今年も40人増で希望人数が減っているため倍率は下がると思うが、希望調査での下がり方があまりに大きいので、駿や浦和西の志願者が流れてくるとそんなに倍率が下がらないかもしれない。
	1.58	1.47	40人増	
春日部 (68)	1.32	1.29	1.02	● 例年、希望倍率は低い本番の倍率が上がる数少ない学校。市立浦和や蕨から生徒が流れてくるので、希望調査で低い倍率になっているが、このまま低いことはありえない。本番の倍率は下がると思われるが、1.3~1.4くらいでおさまるでしよう。
	1.54	1.41	40人増	
不動岡 (65)	1.51	1.74	1.82	● 昨年度は希望調査の倍率は上がったが、結局本番の倍率は例年通りだった。今年はさらに希望調査の倍率が上がっており、さすがに今年の倍率は上昇しそう。
	1.36	1.35		
越谷北 (65)	1.66	1.57	1.62	● とくに大きな変化もなく、例年通りの倍率になりそう。ただし、不動岡の倍率が1.4を超えてくると、不動岡から生徒が流れてきそう。
	1.27	1.3		
越ヶ谷 (62)	2.52	2.05	2.27	● 昨年の40人増に対して今年は40人増なので、倍率は上昇しそう。ただし、希望調査の倍率はそれほど大きく上がっていないので、H.27年のときの倍率ほどにはならなそう。
	1.61	1.44	40人増	
		40人増	40人減	

(表の見方)

学校名	H.27	H.28	H.29	予想コメント
浦和 (72)	1.8	1.41	1.48	● 昨年の40人増に対して今年は40人減なので、倍率が上がると考えられるが、希望調査の倍率は大きく上がっていないので、H.27年ほどの倍率にはならなそう。

上段は「希望調査における倍率」

下段は「実際の入試での倍率」

数字は「偏差値」

10月1日に、中3生を対象に「進路希望調査」が行われました。現在、その集計結果が埼玉県教育委員会のHPで公表されています。生徒たちからは「〇〇高校の倍率高くない？」や「〇〇高校の倍率が低いからそこに変えようかな」などの声が聞かれます。しかし、この希望調査における倍率がそのまま本番の入試における倍率になるわけではありません。

①希望調査では高い倍率だが本番では下がる学校があれば、逆に②希望調査では低い倍率だが本番では上がる学校もあります。一般的に、①は上位の高校に多く、②は下位の学校に多くなります。あくまでも希望調査なので、みんな高い学校を希望するためにこのような傾向が出ます。現状の成績等を考慮せずに希望を出すので、希望調査で高い倍率が出ている学校は、まさに人気がある学校であるといえるでしょう。

また、他に希望よりも倍率が下がる要因としては「この調査のときは公立を希望していたが、のちに私立単願に切り替える生徒」が出てくることもあります。

実際の本番の倍率がどうなるのか、非常に気になると思うので、そこで、今回は主要な高校の本番の倍率がどうなりそうなのかを、進路希望における倍率と本番の倍率を過去の結果を踏まえて分析してみたいと思います。

※上の(表の見方)を参考にいただければと思います。

【上位校の倍率推移の予想】

【中位校の倍率推移の予想】

学校名	H.27	H.28	H.29	予想コメント
市立浦和南 (60)	2.13	1.99	2.22	● 昨年度の下がった分が今年戻ってきた感じがします。H.27年度の倍率が高くH.28年は敬遠されましたが、今年は敬遠されず倍率がもとの戻るかもしれません。
	1.59	1.41		
市立大宮北 (60)	1.65	1.74	1.99	● 昨年、40人減だったため、倍率が上昇しました。今年は生徒の人数の増減はありませんが、倍率が上昇しており人気を集めています。おそらく今年も倍率は上昇するでしょう。ただし、もともとの倍率が高いわけではないので、これ以上倍率が上がると他の学校に流れることも。
	1.22	1.36	40人減	
伊奈学園 (60)	1.56	1.64	1.34	● 今年の希望調査の倍率はそれほど高くありません。このままいくと倍率が下がりますが、同レベルの他の高校が高くなっているため、そこから伊奈学園に流れてくると逆に倍率が上がる可能性もあります。
	1.21	1.33		
浦和北 (58)	1.51	1.5	1.52	● 今年は40人減ですが、希望調査の倍率は上昇しませんでした。このままいけば本番の倍率もいつも通り1.2倍あたりで落ち着きそう。
	1.22	1.22	40人増	
市立川口 (58)	1.76	1.72	2.31	● 今年の希望調査の倍率が非常に高いです。おそらく本番の倍率も上昇するでしょう。ただし、1.4~1.5倍の高倍率になってくると、他の学校に流れる可能性があります。
	1.22	1.23		
上尾 (58)	2.29	2.55	2.6	● 上尾はいつも希望調査の倍率は高いですが、入試直前に商業科や他の学校に流れたりすることが多く、例年1.3倍くらいで推移します。今年も2.6倍と高倍率ですが、いつも通り1.3倍くらいで落ち着くでしょう。
	1.24	1.33		
与野 (57)	1.13	1.22	1.65	● 募集人員の増減はありませんが、希望調査の倍率が大きく上昇しました。このままいくと、間違いなく本番の倍率は上昇するでしょう。1.4倍はこえそうな感じがしますが、ひょっとすると1.5倍くらいになる可能性も。
	1.27	1.32		
大宮光陵 (57)	1.7	1.39	1.38	● 昨年の40人増で落ち着いた倍率になりました。今年もそのままの倍率を維持しているので、本番の倍率も同程度になりそう。ただし、他の同レベルの学校と比べると倍率が低いので、与野とかから流れてくる可能性も。
	1.24	1.09	40人増	
市立大宮西 (56)	2.58	2.44	1.92	● 大宮西は今年が最後の募集の年度になります。そのため、いつもよりは希望調査での倍率が低くなりました。しかし、いつも本番の倍率は高く、下がるにしても1.4倍くらいまででしょう。
	1.47	1.59		
春日部東 (59)	1.16	1.4	1.48	● 昨年の倍率が上昇。今年はその倍率を維持している感じになっています。本番の倍率も昨年と同じくらいになるでしょう。
	1.12	1.29		
春日部女子 (58)	0.95	0.82	0.86	● 毎年、希望調査の倍率は定員割れしていますが、本番では1倍を超えるので、今年も同じ感じになるでしょう。1.1~1.2倍あたりで落ち着くと思います。
	1.18	1.1		
越谷南 (58)	1.81	2.01	1.77	● 昨年の希望調査の倍率は上昇しましたが、本番の倍率は上昇していないように見えますが、正しくは上昇したが1.5倍をこえる勢いだったので、他校に流れてこの倍率に落ち着いたと思われます。今年も例年同様の倍率になるでしょう。
	1.46	1.45		
杉戸 (56)	1.07	1.11	1.16	● とくに大きな変化はありませんが、地味に少しずつ上昇。ただ、それでも本番の倍率は1.2倍くらいで落ち着くでしょう。
	1.18	1.19		

学校名	H.27	H.28	H.29	予想コメント
南稜 (55)	1.76	1.84	2.22	● 南部地区で人気急上昇中。昨年は前年が1.6倍とあまりに高かったため敬遠されて倍率が下がりました。しかし、今年は希望調査で昨年よりも倍率が高くなっており、下手するとH.27年のおきのように1.6倍を超える高倍率になる可能性があります。
	1.63	1.46		
川口 (53)	1.71	1.79	1.29	● 昨年、40人減で倍率が上がりましたが、今年は40人増になるので本番の倍率は下がるでしょう。
	1.23	1.36	40人減	
大宮南 (53)	1.61	1.75	1.76	● 希望調査の倍率はとくに大きな変化は見られず。今年の本番の倍率も例年通り1.3倍くらいで落ち着くでしょう。
	1.35	1.28		
桶川 (52)	1.32	1.22	1.28	● 大宮南と同様に、大きな変化はありません。今年の本番の倍率も例年通り1.2倍くらいで落ち着くでしょう。
	1.19	1.16		
岩槻 (51)	1.18	0.99	1.07	● 大宮南や桶川と同じような感じですが、岩槻は希望調査の倍率よりも本番の倍率の方が高くなる点で大きく異なります。これは、大宮南のような高い倍率のところから、ほぼ同じレベルで倍率が低い岩槻に生徒が流れるためです。現在1.07倍と低いですが、本番では例年通り1.2倍以上になるでしょう。
	1.25	1.22		
市立県陽 (50)	1.18	1.19	1.38	● 今年は40人減のため、希望調査の倍率がいつもより高くなっています。さらに県陽は川口総合を志望校にしている子が流れてくるために、本番の倍率が高くなる傾向があります。今回は、この2つの要素が重なるので、例年より倍率が高くなるでしょう。
	1.46	1.46	40人減	
市立川口総合 (50)	2.2	2.73	2.34	● 今年は昨年の反動で希望調査の倍率が下がっています。おそらくこの下がった分は県陽に流れたと思われる。ただ、今年は県陽も高倍率になるので、あまり多くの生徒が流れられず、例年通りの高倍率になってしまいうでしょう。
	1.42	1.58	40人減	
浦和東 (50)	1.36	1.05	1.48	● 昨年、40人減だったので希望調査、本番ともに倍率が下がりましたが、今年は逆に40人減で倍率がもとの戻ってしまいそうです。
	1.2	1.1	40人増	
鳩ヶ谷 (49)	1.63	1.58	1.59	● ここ数年、希望調査での倍率は高倍率で安定していますが、本番の倍率は流動的です。H.27の倍率が高かったため、翌年のH.28は避けられましたが、今年は逆に戻って1.2~1.3倍くらいにはなりそうです。
	1.39	1.13		
鴻巣 (49)	1.21	1.41	1.32	● ほぼ例年通りの希望調査の倍率なので、本番の倍率も例年通りになるでしょう。
	1.19	1.2		
久喜北陽 (52)	1.11	1.25	1.26	● 昨年、希望調査の倍率が上がり、本番の倍率も上がりました。今年は、昨年と同程度の倍率なので、本番の倍率も昨年と同程度になるでしょう。
	1.08	1.18		
久喜 (52)	0.88	0.78	0.82	● 女子校のため、希望調査の段階での倍率はそれほど高くありませんが、同レベルの大宮南や久喜北陽から流れてくるので、本番の倍率はそれなりの倍率になります。今年もほぼ例年通りの倍率になるでしょう。
	1.1	1.18		

埼玉県
南部地区

埼玉県
南部地区

埼玉県
東部地区

埼玉県
東部地区

【 下位校の倍率推移の予想 】

		学校名	H.27	H.28	H.29	予想コメント			学校名	H.27	H.28	H.29	予想コメント
埼玉県 南部地区	大宮武蔵野 (48)	1.51	1.55	1.07	● 今年は40人増で希望調査の倍率が下がりました。本番の倍率も下がると思いますが、もともと女子に人気がある学校ですので、倍率が下がったことにより、他の学校から生徒が流れてくる可能性もあります。そうなれば、昨年と同じくらいの倍率になることもありえます。	埼玉県 東部地区	庄和 (47)	0.88	0.92	0.89	● 定員割れしていますが、例年1.0倍近くの倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。		
		1.14	1.25					0.9	1.04				
	大宮東 (48)	1.16	1.37	1.31	● 昨年、40人減で倍率が若干上昇しました。今年も、希望調査の倍率は昨年と同程度なので、倍率もほぼ同程度になるでしょう。		鷲宮 (46)	1	1.19	1.28	● 昨年、希望調査の倍率が上がり、本番の倍率も同様に上がりました。今年は昨年以上に倍率が上がっているため、本番の倍率も上昇するでしょう。ただし、あまりに高くなると他の学校に流れるので、高くても1.2~1.3くらいで落ちつくと思います。		
		0.99	1.11					1	1.18				
	川口東 (46)	1.1	0.96	1.07	● 昨年、40人増なので倍率は下がるはずでしたが、希望調査は下がり、本番の倍率は例年通りになりました。これは同じレベルの学校から倍率が低いために流れたためです。今年も例年通り1.1倍程度の倍率で落ち着くでしょう。		白岡 (44)	0.85	0.84	0.89	● 定員割れしていますが、例年1.0~1.1倍の倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。		
		1.1	1.13					1.04	1.08				
	上尾鷹の台 (46)	1.07	1.01	1.09	● ほぼ、例年通りの希望調査の倍率です。本番の倍率も1.1倍程度で落ち着くでしょう。		幸手桜 (43)	0.7	0.5	0.56	● ここ2年定員割れを続けてしていますが、例年1.0倍近くの倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。		
		1.17	1.04					0.97	0.97				
	上尾南 (44)	0.62	0.71	0.71	● 例年、希望調査の段階では定員割れになりますが、必ず定員の1倍近くまで倍率が上がります。今年も定員割れしていますが、本番の倍率は1倍近くになるでしょう。		栗橋北彩 (41)	0.53	0.62	0.61	● 定員割れしていますが、例年1.0倍近くの倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。		
		0.93	1					1	1.04				
	川口青陵 (43)	0.89	0.85	1.04	● 昨年、40人減でしたがほとんど変動がありませんでした。1.1倍よりも低ければ他の学校から生徒が流れこみ、1.1倍よりも高ければ他の学校に生徒が流れる状況になっています。今年の倍率も若干上昇すると思いますが、志願先変更を経ていつも通りの1.1倍で落ち着くでしょう。		宮代 (41)	0.71	0.7	0.82	● 定員割れしていますが、例年1.0~1.1倍の倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。		
		1.11	1.09					1.03	1.05				
	北本 (42)	0.83	0.65	0.6	● 定員割れしていますが、例年1.0~1.1倍の倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。		蓮田松韻 (39)	0.51	0.45	0.48	● 定員割れしていますが、例年1.0倍近くの倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。		
		0.99	1.11					1.01	1.01				
桶川西 (41)	0.84	0.81	0.86	● 定員割れしていますが、例年1.0~1.1倍の倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。									
	1.05	1.06											
岩槻北陵 (38)	0.39	0.36	0.56	● 昨年、本番の倍率で定員割れになったため、希望調査の倍率もいつもよりは高めになりました。しかし、定員割れした学校には他から生徒が流れてくるため、1倍近くの倍率にはなるでしょう。									
	1.01	0.76											
上尾橋 (38)	0.88	0.77	0.72	● 定員割れしていますが、例年1.0~1.1倍の倍率で落ち着きます。今年もいつも通り本番の倍率もそのくらいで落ち着くでしょう。									
	0.96	1.12											